

安芸市 道路交通網ビジョン

(概要版)

平成22年10月



安芸市

安芸市道路交通網ビジョンの策定にあたって

道路は、住民の日常生活や経済活動を支える重要な社会資本です。これまでは、経済成長とともに均衡ある国土の形成を目指し、全国的に道路整備が進められてきました。

しかし、昨今の厳しい財政事情から、道路をはじめとする社会資本に対する投資が減少していく中、安芸市に必要な道路において整備効果や必要性をより明確にすることが求められています。

このような背景を踏まえ、本市では、学識経験者や関係する商工・産業や観光などの各分野の関係者等による『安芸市道路交通網ビジョン策定委員会』を設立し、安芸市の道路交通網のあるべき姿を共有する将来ビジョンとして、『安芸市道路交通網ビジョン』を策定しました。

策定委員参加団体名	
高知工科大学	
安芸商工会議所	
土佐あき農業協同組合	
安芸市農業委員会	
安芸市観光協会	
安芸地区医師会	
安芸市教育委員会	
安芸市社会福祉協議会	
四国の道を考える会	
安芸市都市計画審議会	
安芸市議会	
安芸市役所	

安芸市の現状について ～ここでは代表的な事例を紹介します～

1 高知県東部地域の中核都市としての役割

安芸市は、高知県東部地域において国や県等の地域行政機能が集積しており、高知県東部地域の中核都市としての役割が期待されます。

施設	室戸市	安芸市	香南市	香美市	南国市
裁判所		○			
法務局		○		○	
税務署		○			○
職業安定所		○		△	
労働基準監督署		○			
森林管理署		○		○	
国道事務所出張所					○
自衛隊			○		

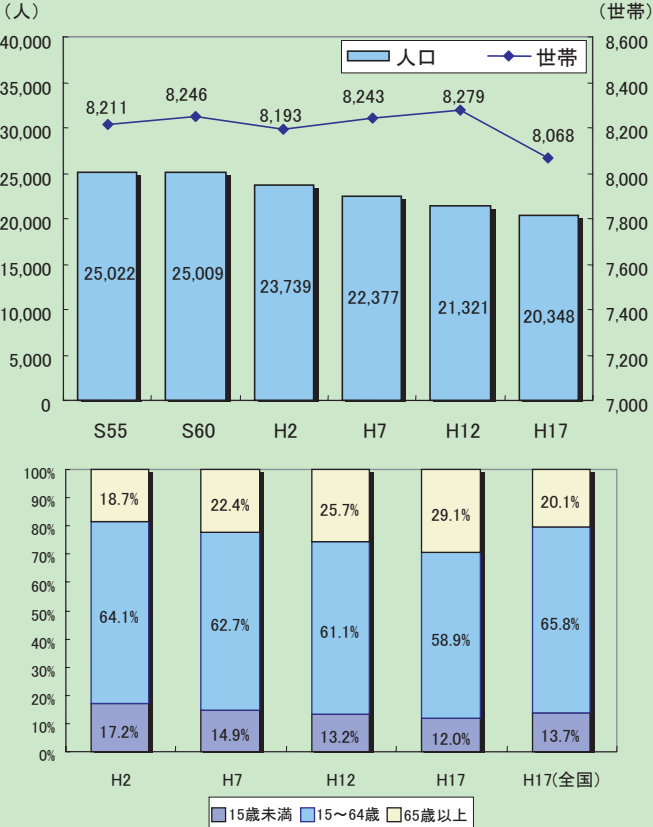
施設	室戸市	安芸市	香南市	香美市	南国市
警察署	○	○	○	○	○
県税事務所		○			
福祉保健所		○		○	
農業振興センター	○	○		○	
林業事務所		○		○	
土木事務所	○	○			○

2 人口の減少と高齢化の進展

昭和55年に約2万5千人であった安芸市の人口は、平成17年には約2万人と人口減少が続いています。また、世帯数は平成2年から増加していましたが、平成17年には大幅な減少が見られます。

安芸市の年齢構成別人口をみると、幼年人口（0～14歳人口）の減少と老年人口（65歳以上人口）の増加が年々進んでおり、今後ともこの傾向が進むと考えられます。また、全国平均と比べると老年人口の割合が9%も高くなっています。

その要因としては、人口が自然減少傾向になっていること、転出者が転入者を上回っており人口が流出していることが挙げられます。

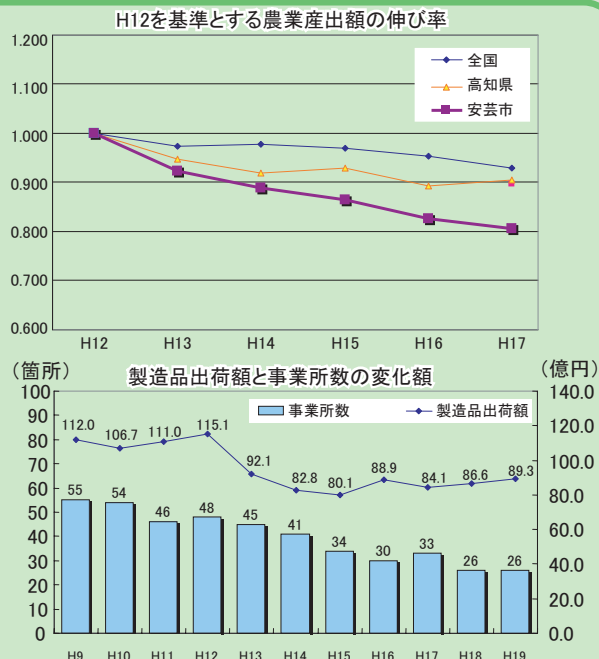


3 各部門で減少傾向にある産業の復興

安芸市は温暖な気候や地味肥沃な土壌を活かした施設園芸が盛んに営まれています。農業産出額及び収穫量は、減少傾向にあります。また、農業従事者の高齢化が進んでおり、後継者対策が課題となっています。

工業部門においては、従業員4人以上の製造業事業所及び年間製造品出荷額が、平成9年の55事業所・112億円であったのに対して平成19年には26事業所・89.3億円に減少しています。

安芸市における商品販売額は、卸売業、小売業ともに減少しています。特に、卸売業の商品販売額は、10年前から約4割減少しています。



4 救命救急の向上と 東南海・南海地震への対応

高知県東部地域には、第三次救急医療施設がないため、重症患者は高知市内へ管外搬送されます。管外搬送を行っている間には、救急車が消防署にいない『空白の時間』が発生するなど、高知市方面への搬送時間の短縮と、救急車が円滑に現場到着するための道路整備は安芸市のみならず高知県東部地域における課題となっています。

また、今後30年以内に東南海地震は60～70%、南海地震は60%程度の確率で発生することが予想されています。東南海・南海地震発生時には地震による被害の他に、安芸市街地を含む広範囲に津波が来襲することが予想されており、安芸市東西を結ぶ唯一の幹線道路である国道55号で17.5km中12.5kmが津波浸水する他、甚大な建物被害や人的被害の発生が予想されています。

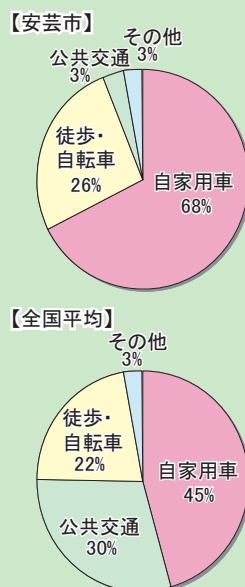


5 高い自動車依存率と 未改良区間が多く残る道路

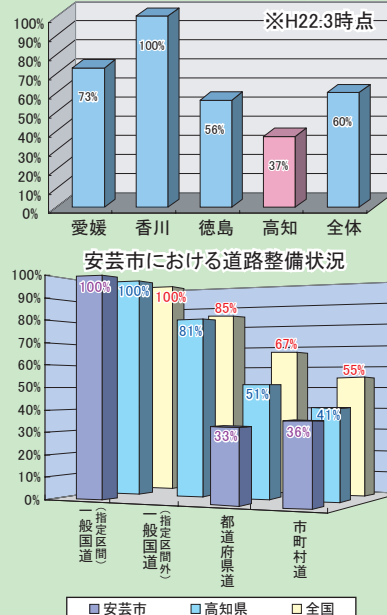
右の円グラフは通勤・通学においてどのような交通手段を用いているかを示していますが、公共交通が十分に整備されていないことから自家用車が全国値を23%上回るなど、高い自動車依存率を有しています。

一方で市内の幹線道路では県道安芸物部線の整備や市道安芸伊尾木線の開通など主要な県道、市道の整備が進められていますが、改良率は高知県の平均より低い状況です。また、安芸市を通過する予定の高規格道路である「四国8の字ネットワーク」の形成率は高知県が四国ワースト1になっています。

通勤・通学における交通手段



四国8の字ネットワーク形成率



道路交通網整備の目標

安芸市は、人口の減少や高齢化が進展し、また、農業をはじめとする各種の産業も生産額や販売額が減少傾向にあるなど、地域活力の維持・向上が大きな課題となっています。また、毎年のように繰り返される風水害や、発生が近いとされる南海地震への対応も急務となっています。このような中、道路交通網も交通需要への対応という第一義的な役割に加えて、その整備により地域の課題に対応し、より良い市民生活を支援するといった役割の重要性が増しています。

安芸市では、道路整備を「望ましい安芸市の将来像につながる基盤整備」と位置づけ、「豊かで安心な市民生活を支える道路交通網」を基本的な理念として、安芸市のパフォーマンスを最大化し、市民が愛着と誇りを持って利用できる道路交通網の構築を目指します。

1. 快適で便利な市民生活を支える道路交通網

中心市街地及び集落相互のアクセスの改善や、安芸市から、高知市周辺の主要施設へのアクセスの改善等、市の内外における移動のしやすさを向上させることにより、市民生活の快適性、利便性を高めるための道路交通網を整備します。

生活満足度が高く、魅力あるまちづくりをすすめることにより、定住意識の高まり→人口の減少に歯止め→地域産業の活性化→雇用の創出→人口の定着といった好循環を生み出すことを意図しています。

2. 地域活力の維持・向上を支える道路交通網

市内における主要な産業施設（農業関連施設、商業施設、観光施設等）間のアクセスの改善や、安芸市から高知市、関西圏への所要時間の短縮により、産業活動を支援するための道路交通網を整備します。

生産効率の向上、生産から市場搬入までの所要時間短縮による商品付加価値の付与と競争力の向上、市場範囲の拡大、地域の観光資源の有効活用、観光の広域連携による魅力の向上等、多様な整備メリットが期待できます。

3. 安心で安全な市民生活を支える道路交通網

南海地震の発生による強い揺れや津波に対する防災機能、発災後における速やかな復興支援機能確保し、また日常生活においては中山間地道路の走行安全性確保や医療機関へのアクセスを向上するなどして市民生活の安全性を高めるための道路交通網を整備します。

地震災害や風水害に対しても交通の信頼性を確保することで、市民生活の阻害を最小限とし、必要に応じて円滑で安全な避難活動、復興活動を可能とします。また、安芸病院や高知市内の3次救急医療施設への救急搬送に要する時間を短縮し、救命率の向上を図ります。

4. 適切に管理され、整備効果の高い道路交通網

市内の道路には、高知～徳島間を結ぶ主要幹線道路や主要地方道、住民生活を目的とした市道など、様々な特徴を持った道路が存在しますが、それらが適切に管理されるために必要なことについて検討します。

市街地拡大図

市道本町線 (1級)

市道安芸漁港線

市道千歳線

市道染井海岸線 (1級)

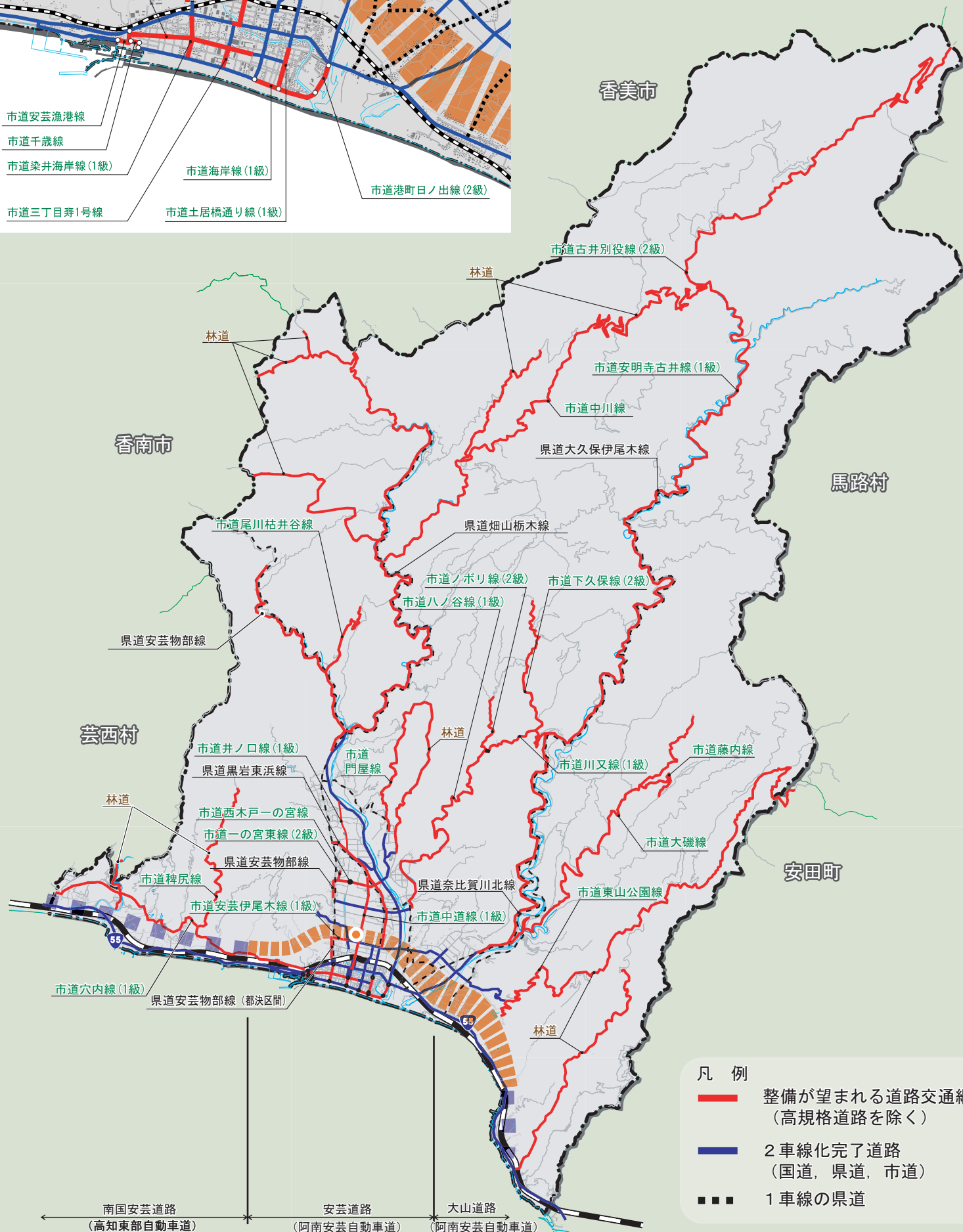
市道海岸線 (1級)

市道港町日ノ出線 (2級)

市道三丁目寿1号線

市道土居橋通り線 (1級)

整備路線一覽



●整備路線の検討にあたって

検討にあたっては、以下に示す方法で検討を進めました。

地域の
将来像
の検討

商工産業や観光などの各分野毎に、地域が目指すべき将来像について考えました。地域の将来像は、安芸道路などの高規格道路以外が整備された場合や、すべての対象路線が整備された場合などのケースを想定しています。

整備対象
路線の
抽出

目指すべき地域の将来像とどのように関連し、どのような路線の整備を行えば目標の達成につながるのかについて、その実現のために求める機能について考え、対象路線を抽出しています。

整備手法
の検討

整備を行う路線に対して、例えば、高規格道路へのアクセスであれば2車線道路整備、山間部では整備効果の早期発現のために1.5車線の道路整備手法の適用などといった検討をしています。

●地域活力の維持・向上を支える道路交通網

地域の
将来像

農産物の
販売促進

農業体験

農林水産業
の連携

商業・工業
の活性化

漁業・林業
の活性化

魅力ある
観光資源の連携

四国東南部
の観光連携の強化

分類	対応	主要な整備対象路線		
		生産・加工・出荷の 各拠点を連絡する 道路の整備	各種施設を循環可能な 道路の整備	安芸道路への アクセス道路の整備
整備が必要と 考えられる 路線	安芸市	市道穴内線(1級) 市道中道線(1級) 市道八ノ谷線(1級) 市道川又線(1級) 市道安明寺古井線(1級) 市道下久保線(2級) 市道ノボリ線(2級) 市道古井別役線(2級) 市道大磯線 市道藤内線 市道東山公園線 市道尾川枯井谷線 市道稗尻線 市道中川線 市道門屋線	市道中道線(1級) 市道一の宮東線(2級) 市道西木戸一の宮線 市道本町線(1級) 市道土居橋通り線(1級) 市道海岸線(1級) 市道港町日ノ出線(2級) 市道千歳線 市道安芸漁港線	市道中道線(1級) 市道安芸伊尾木線(1級)
	その他	県道安芸物部線 県道奈比賀川北線 県道畑山栃木線 県道黒岩東浜線 県道大久保伊尾木線 各種林道	県道安芸物部線	県道安芸物部線 (都決区間)

ナス集出荷場、ユズ加工場に直結する市道中道線及び県道などの整備を必要としています。

基本的な整備内容としては、未改良区間の2車線化を目標としますが、早期の事業化のため、1.5車線の整備等、幅広い整備手法を選択肢に入れて整備計画を立案するものとします。

観光地の周遊、及び商業地域の周回に必要な道路の整備を必要としています。商業周回では中心部の小環状とこれを囲む環状経路の二重環状の形成を目指します。

これら整備においては、交通処理能力とともに通行時の快適性やゆとり、景観上の魅力の向上にも留意が必要であり、必要に応じてコミュニティ道路的な整備手法も選択肢に含めるものとします。

安芸道路に対して南北アクセスを行う市道中道線、東西アクセスを行う市道安芸伊尾木線の2路線の整備を必要としています。

安芸道路完成時には大型バスやトラック等の大型車交通の処理も発生するため2車線整備を目標とします。

●整備路線の選定にあたって

地域の 将来像

中山間地の
生活利便性向上

雇用機会の拡大と
定住環境の改善

中心市街地の
交通円滑化

分類	対応	主要な整備対象路線		
		中山間地と中心市街地を 連絡する道路の整備	国道機能を代替可能な 道路の整備	安芸道路への アクセス道路の整備
整備が必要と 考えられる 路線	安芸市	市道井ノ口線(1級) 市道安明寺古井線(1級) 市道八ノ谷線(1級) 市道川又線(1級) 市道古井別役線(2級)	市道海岸線(1級) 市道港町日ノ出線(2級) 市道千歳線 市道安芸漁港線	市道中道線(1級) 市道安芸伊尾木線(1級)
	その他	県道安芸物部線 県道奈比賀川北線 県道畑山栃木線 県道黒岩東浜線 県道大久保伊尾木線	—	県道安芸物部線 (都決区間)

県道、市道ともに整備効果の観点から、沿道人口規模が比較的大きい路線の整備を必要としています。

基本的な整備内容としては、未改良区間の2車線化を目標としますが、早期の事業化のため、1.5車線の整備等、幅広い整備手法を選択肢に入れて整備計画を立案するものとします。

国道の交通負荷分散の必要性が高く、市道海岸線を中心とする一連の海岸ルート(中心市街地拡大図)の整備を必要としています。

この整備においては、十分な交通処理能力が求められることから、都計決定幅W=12.0mの2車線整備が必要であるとともに、国道との接合交差点の交通処理にも十分留意する必要があります。

安芸道路に対して南北アクセスを行う市道中道線、東西アクセスを行う市道安芸伊尾木線の2路線の整備を必要としています。

安芸道路完成時には大型バスやトラック等の大型車交通の処理も発生するため2車線整備を目標とします。

●安心で安全な市民生活を支える道路交通網

地域の 将来像

救急救命率
の向上

津波避難における
迅速性、確実性の確保

広域的支援に
よる災害復興

分類	対応	主要な整備対象路線		
		中山間地と中心市街地を 連絡する道路の整備	沿岸地域における 南北方向道路の整備	安芸道路への アクセス道路の整備
整備が必要と 考えられる 路線	安芸市	市道八ノ谷線(1級) 市道川又線(1級) 市道安明寺古井線(1級) 市道古井別役線(2級)	市道土居橋通り線(1級) 市道染井海岸線(1級) 市道港町日ノ出線(2級) 市道三丁目寿1号線	市道中道線(1級) 市道安芸伊尾木線(1級)
	その他	県道安芸物部線 県道畑山栃木線 県道奈比賀川北線 県道黒岩東浜線 県道大久保伊尾木線	—	県道安芸物部線 (都決区間)

人口規模にかかわらず、安芸市の幹線道路の役割を持つ県道の整備を必要としています。八ノ谷方面へは市道しか存在しないことから該当する2路線についても整備が必要としています。

基本的な整備内容としては、未改良区間の2車線化を目標としますが、早期の事業化のため、1.5車線の整備等、幅広い整備手法を選択肢に入れて整備計画を立案するものとします。

中心市街地拡大図に示した4路線(海岸からの最短避難が可能で、かつ国道に直結する路線)の整備を必要としています。

この整備においては、交通処理能力よりも避難における確実性と迅速性が求められることから、建物被害による道路閉塞を避ける観点から2車線整備が必要であると考えられます。

安芸道路に対して南北アクセスを行う市道中道線、東西アクセスを行う市道安芸伊尾木線の2路線の整備を必要としています。市道安芸伊尾木線は安芸病院へのアクセス向上の役割も担います。

救急搬送時等の走行速度の確保や患者への負担軽減のため2車線整備を目標とします。

地域高規格道路 安芸道路のルートについて

阿南安芸自動車に含まれる安芸道路（仮称）は、安芸市街地周辺を通過する幹線道路です。安芸道路のルートや整備時期は、安芸市の道路交通網のみならず、観光・商業・農林等、各地域ビジョンにも大きな影響があり、安芸市にとって必要不可欠な道路です。

このため、安芸市の道路網を考えるにあたって最も重要な道路の一つである安芸道路の望ましいルート等について、策定委員会での意見をふまえ整理しました。

●推奨ルート

海岸沿いは高波・津波等により通行に支障が出ます。国道55号沿いは沿線の商業地の移転などが発生するため現実的ではありません。山側のルートは優良農地を通過しますが高波・津波等の影響を受けず、都市計画マスタープランにも合致したルートです。市街地を避けて市道安芸伊尾木線沿いを通過し大山道路に接続するルートを推奨します。

●アクセス位置

アクセス位置は安芸市の中央で現在も頻繁に利用されている市道中道線沿線が望ましく、接続道路は、国道55号との接続やごめんなはり線高架部などを総合的に考慮する必要があります。



安芸市道路交通網ビジョン(概要版)

〒784-8501 安芸市矢ノ丸1-4-40
安芸市役所 建設課・自動車道推進室
TEL : 0887-34-1111 (代)
e-mail / kensetu@city.aki.kochi.jp
URL / <http://www.city.aki.kochi.jp/>